

弾道ミサイル発射に係る Jアラート作動時における対応について

万が一、ミサイルが発射され、宮城県内への影響が予想される場合には、国からミサイル発射情報や屋内退避の呼びかけ等の緊急情報が、Jアラートにより伝達され、その情報が携帯電話・スマートフォンの緊急速報メールや市町の防災行政無線等を通じて伝達されますので、落ち着いて直ちに以下の行動をとってください。

また、これらの緊急情報にあわせて、テレビ、ラジオの報道情報等にも注意してください。

【行動について】

<p>◇緊急速報メールや防災行政無線等で緊急情報が伝達された場合の行動例</p> <p>【屋外にいる場合の行動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くの建物の中や地下に避難する。 ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。 <p>【屋内にいる場合の行動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。 <p>【自動車の車内にいる場合の行動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため、車を止めて頑丈な建物や地下街などに避難する。 ・周囲に避難できる頑丈な建物や地下街などがいない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。 <p>◇ミサイルが着弾した場合の行動例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。 ・屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。 ・屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

弾道ミサイルが落下する可能性がある場合に国民がとるべき行動については、内閣官房国民保護ポータルサイトに掲載されていますので、参考にしてください。

また、内容については、随時、更新されていますので各自で確認してください。

<内閣官房国民保護ポータルサイト>

- ・武力攻撃やテロなどから身を守るために（内閣官房パンフレット）
- ・弾道ミサイル落下時の行動について
- ・弾道ミサイル落下時の行動に関する Q&A

【休講について】

石巻専修大学では、Jアラートが発令された場合、皆さんの安全を図るため休講措置をとることがあります。弾道ミサイルの発射等によりJアラートが発令された場合は、以下のとおりとします。

宮城県を含まない範囲でJアラートが発令された場合	通常通り
宮城県を含む範囲でJアラートが発令されたが、「ミサイルが通過した」「誤報であった」など危機的な状況が解消されたことが明らかな場合	通常通り
宮城県を含む範囲でJアラートが発令され、日本国内への着弾や引き続きミサイル発射の可能性があることが政府から発表された場合	緊急の対策本部を設置し、休講措置について検討します。休講措置については、大学ホームページやポータル等で連絡します。